


投資家・株主のみなさまへ

# 第60期 報告書

平成21年4月1日～平成22年3月31日

 石光商事株式会社

証券コード:2750

# 株主の皆様へ



株主の皆様方には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに当社第60期（平成21年4月1日から平成22年3月31日まで）の事業の概況と決算についてご報告申し上げます。

今後も顧客満足度を高めるとともに収益力を強化し企業業績の向上に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年6月

代表取締役社長 **森本 茂**

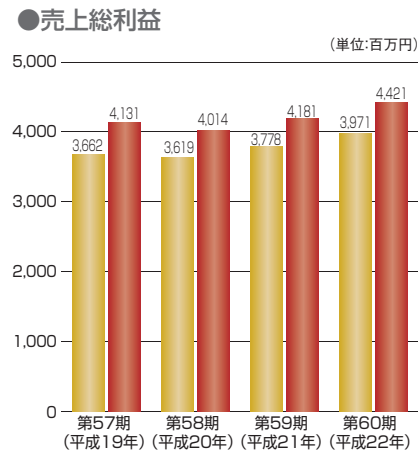
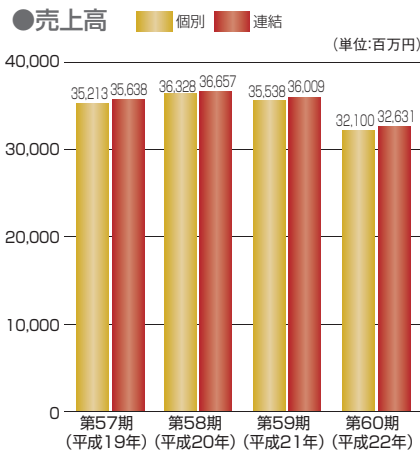
## 事業の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、一昨年来の世界的な金融危機による大幅な景気悪化からは持ち直しの動きが見られたものの、本格的な企業収益の回復には至っておらず、雇用情勢悪化の懸念や個人消費の低迷等、依然として厳しい経営環境が続いております。

当社グループの主力マーケットである食品業界におきましても、雇用・所得

環境の回復の遅れから、個人消費の節約志向は依然として強く、緩やかなデフレ状況にある市場環境では低価格化等の企業間競争は激しさを増しております。

このような状況の中で、当連結会計年度の売上高は、取扱商品や取引先などの選択と集中に努めた影響などもあり、32,631百万円と前年同期比9.4%の減少となりました。



しかしながら、当社グループは、「食」を通じて人々とともに喜びを共有できる企業をめざし、「THE GLOBAL FOOD MERCHANDISER」を企業像として掲げ、最適産地の発掘から製造、流通、マーケティング、品質管理等の全ての工程に関わり合っ商品価値を高めていく、いわゆるマーチャンダイジング活動に全力を注ぎつつ、当期は特に業績の回復を最重要課題として取

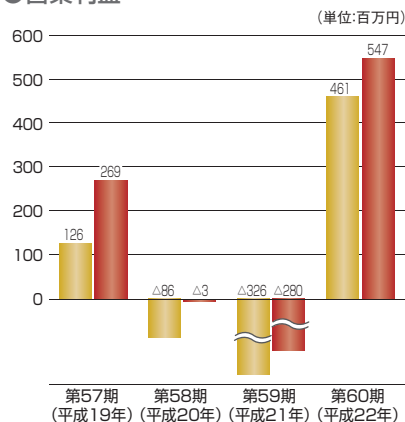
り組み、ロスのゼロ化、コスト削減にも最大限の努力を重ねてまいりました。

その結果、利益面につきましては、原材料価格の安定および円高の影響等による売上総利益率の改善に加え、物流費等の販売費および一般管理費の削減効果、また、確定給付企業年金の年金資産の時価評価上昇に伴う退職給付費用の減少等により、営業利益は547百万円（前年同期は営業損失280百万円）、経常

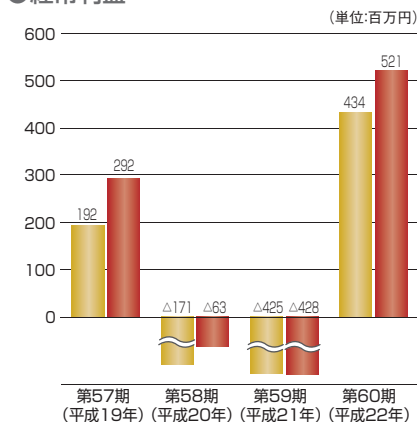
利益は521百万円（前年同期は経常損失428百万円）、当期純利益は369百万円（前年同期は当期純損失308百万円）となりました。



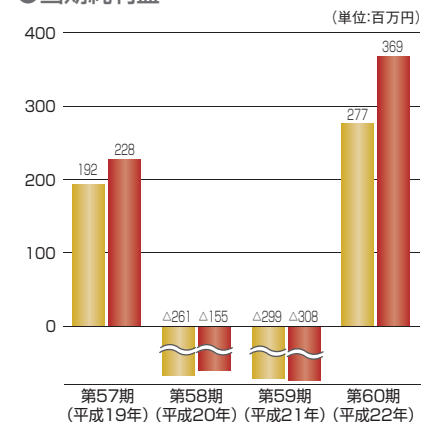
### ●営業利益



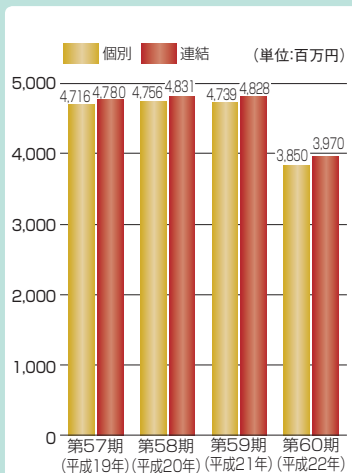
### ●経常利益



### ●当期純利益

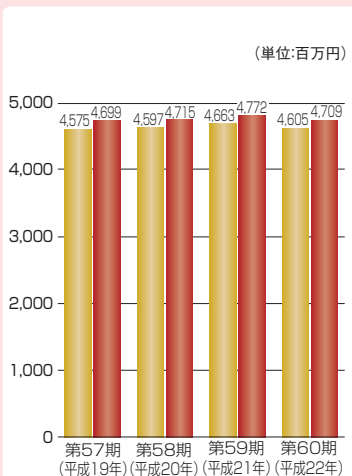
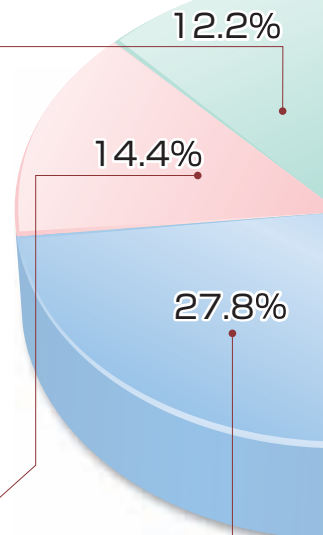


# 商品別概況



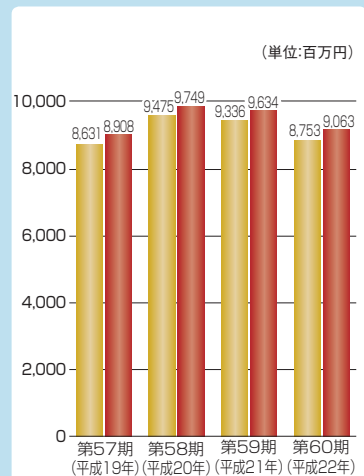
## ■ コーヒー生豆

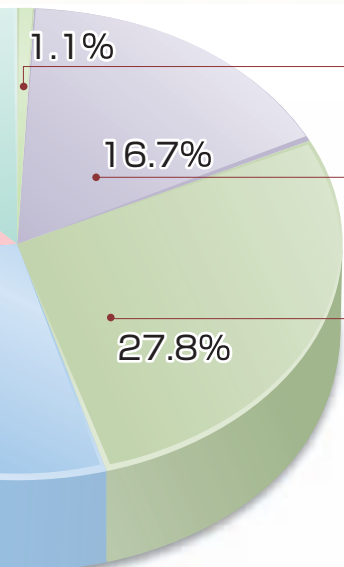
コーヒー生豆のニューヨーク市場価格(期近終値ベース)は、期初の114.50セント/ポンド(以下セントと略す。)から上昇下落を繰り返しながらも徐々に上昇し、12月には148.20セントまで上昇し、期末には136.15セントで終了いたしました。モカの原料となるエチオピア産コーヒー生豆の輸入が一昨年より途絶えていることによる販売数量の減少および前連結会計年度後半からのコーヒー相場下落による販売単価の下落により、コーヒー生豆の売上高は3,970百万円(前年同期比17.8%減少)となりました。



## ■ 飲料製品および原料

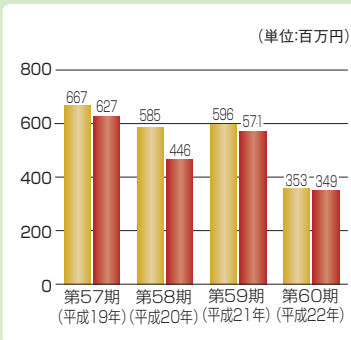
レギュラーコーヒーの売上高はコーヒーバッグおよび家庭用の袋入商品が減少したものの、飲料メーカー向け原料が増加したため、前年同期比1.4%増加いたしました。インスタントコーヒーの売上高は飲料メーカー向け原料および家庭用の袋入商品が増加したため、前年同期比9.4%増加いたしました。茶類の売上高は、家庭用の紅茶ティーバッグが減少したため、前年同期比3.6%減少いたしました。その結果、飲料製品および原料の売上高は4,709百万円(前年同期比1.3%減少)となりました。





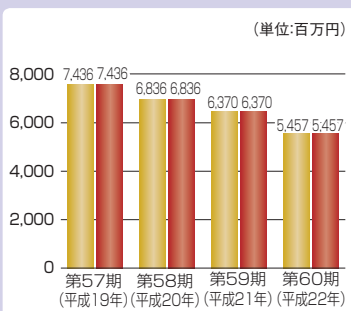
## ■ 常温食品

輸入商品や自社ブランド商品の売上高は農産缶詰、フルーツ缶詰およびイタリア商品（パスタ・オリーブオイル等）が減少したため、前年同期比15.9%減少いたしました。国内メーカー商品の売上高は中国、東南アジアおよび欧州向けの輸出が増加したものの、国内販売が減少したため、前年同期比2.7%減少いたしました。その結果、常温食品の売上高は9,063百万円（前年同期比5.9%減少）となりました。



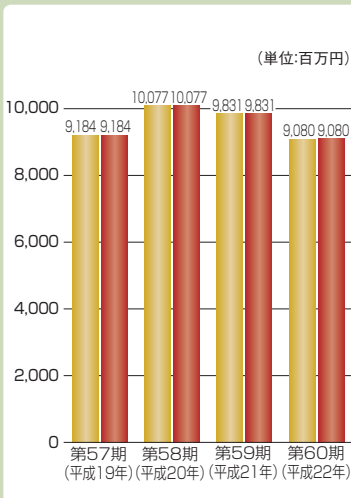
## ■ その他

その他の売上高につきましては、349百万円（前年同期比38.8%減少）となりました。



## ■ 食品原料

食品原料の売上高は小豆加工品、栗原料・栗甘露煮製品およびトマト加工品が減少したため、5,457百万円（前年同期比14.3%減少）となりました。



## ■ 冷凍食品

輸入水産加工品の売上高は外食店向けのエビ加工品や食品メーカー向けのタコ加工品が減少したため前年同期比20.4%減少いたしました。輸入調理加工品の売上高は中国産製品に対する抵抗感の減少、生産国の変更、新商品の開発および新規得意先の獲得等により、前年同期比35.9%増加いたしました。国内メーカー商品の売上高は中国および米国向けの輸出が増加したものの、東南アジア向けの輸出および国内販売が減少したため、前年同期比3.4%減少いたしました。その結果、冷凍食品の売上高は9,080百万円（前年同期比7.6%減少）となりました。

# 連結財務諸表 要旨

## 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	当連結会計年度末 (平成22年3月31日現在)	前連結会計年度末 (平成21年3月31日現在)
<b>(資産の部)</b>		
流動資産	11,695	11,370
固定資産	6,083	6,104
有形固定資産	2,640	2,697
無形固定資産	154	183
投資その他の資産	3,288	3,222
繰延資産	22	15
資産合計	17,801	17,489
<b>(負債の部)</b>		
流動負債	6,266	6,095
固定負債	4,228	4,392
負債合計	10,495	10,488
<b>(純資産の部)</b>		
株主資本	7,208	6,957
資本金	623	623
資本剰余金	357	357
利益剰余金	6,335	5,982
自己株式	△107	△4
評価・換算差額等	△89	△145
その他有価証券評価差額金	6	△3
繰延ヘッジ損益	△95	△142
少数株主持分	187	189
純資産合計	7,306	7,001
負債・純資産合計	17,801	17,489

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結損益計算書

(単位:百万円)

	当連結会計年度 (自平成21年4月1日 至平成22年3月31日)	前連結会計年度 (自平成20年4月1日 至平成21年3月31日)
売上高	32,631	36,009
売上原価	28,209	31,827
売上総利益	4,421	4,181
販売費及び一般管理費	3,873	4,462
営業利益又は営業損失(△)	547	△280
営業外収益	141	143
営業外費用	168	290
経常利益又は経常損失(△)	521	△428
特別利益	80	5
特別損失	5	15
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失(△)	595	△438
法人税、住民税及び事業税	155	11
法人税等調整額	66	△139
少数株主利益 又は少数株主損失(△)	4	△2
当期純利益又は当期純損失(△)	369	△308

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	当連結会計年度 (自平成21年4月1日 至平成22年3月31日)	前連結会計年度 (自平成20年4月1日 至平成21年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,405	652
投資活動によるキャッシュ・フロー	△100	114
財務活動によるキャッシュ・フロー	△243	△447
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 1	△ 45
現金及び現金同等物の増減額	1,059	275
現金及び現金同等物の期首残高	1,762	1,487
現金及び現金同等物の期末残高	2,821	1,762

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。



## 連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度 (自平成21年4月1日 至平成22年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本					評価・換算差額等			少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	評価・換算 差額等合計		
平成21年3月31日残高	623	357	5,982	△ 4	6,957	△ 3	△142	△145	189	7,001
連結会計年度中の変動額										
剰余金の配当			△ 15		△ 15					△ 15
当期純利益			369		369					369
自己株式の取得				△102	△102					△102
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額)						9	46	56	△ 2	53
連結会計年度中の変動額合計	—	—	353	△102	251	9	46	56	△ 2	304
平成22年3月31日残高	623	357	6,335	△107	7,208	6	△95	△89	187	7,306

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 財務諸表（個別）要旨

## 貸借対照表

(単位:百万円)

	当事業年度 (平成22年3月31日現在)	前事業年度 (平成21年3月31日現在)
<b>(資産の部)</b>		
流動資産	11,340	11,087
固定資産	3,338	3,390
有形固定資産	2,155	2,175
無形固定資産	150	178
投資その他の資産	1,033	1,036
繰延資産	22	15
資産合計	14,701	14,493
<b>(負債の部)</b>		
流動負債	6,239	6,079
固定負債	4,110	4,272
負債合計	10,350	10,352
<b>(純資産の部)</b>		
株主資本	4,435	4,276
資本金	623	623
資本剰余金	357	357
利益剰余金	3,563	3,301
自己株式	△107	△4
評価・換算差額等	△84	△136
その他有価証券評価差額金	11	6
繰延ヘッジ損益	△95	△142
純資産合計	4,351	4,140
負債・純資産合計	14,701	14,493

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 損益計算書

(単位:百万円)

	当事業年度 (自平成21年4月1日 至平成22年3月31日)	前事業年度 (自平成20年4月1日 至平成21年3月31日)
売上高	32,100	35,538
売上原価	28,128	31,760
売上総利益	3,971	3,778
販売費及び一般管理費	3,510	4,104
営業利益又は営業損失(△)	461	△326
営業外収益	156	197
営業外費用	183	296
経常利益又は経常損失(△)	434	△425
特別利益	80	5
特別損失	29	15
税引前当期純利益又は 税引前当期純損失(△)	485	△435
法人税、住民税及び事業税	139	3
法人税等調整額	68	△138
当期純利益又は当期純損失(△)	277	△299

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。



## 株主資本等変動計算書

当事業年度（自平成21年4月1日 至平成22年3月31日）

（単位:百万円）

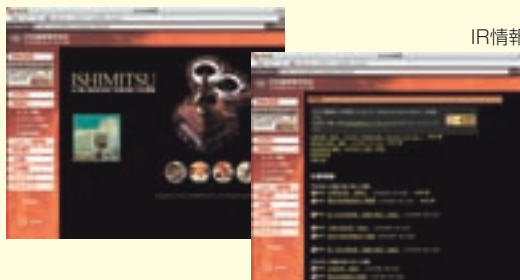
	株主資本										
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金				自己株式	株主資本合計	
		資本準備金	資本剰余金合計		その他利益剰余金						利益剰余金合計
					配当準備積立金	固定資産圧縮積立金	別途積立金	繰越利益剰余金			
平成21年3月31日残高	623	357	357	84	42	553	2,900	△279	3,301	△4	4,276
事業年度中の変動額											
配当準備積立金の取崩					△15			15	—		—
固定資産圧縮積立金の取崩						△10		10	—		—
剰余金の配当								△15	△15		△15
当期純利益								277	277		277
自己株式の取得										△102	△102
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)											
事業年度中の変動額合計	—	—	—	—	△15	△10	—	287	261	△102	159
平成22年3月31日残高	623	357	357	84	26	543	2,900	8	3,563	△107	4,435

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	評価・換算 差額等合計	
平成21年3月31日残高	6	△142	△136	4,140
事業年度中の変動額				
配当準備積立金の取崩				—
固定資産圧縮積立金の取崩				—
剰余金の配当				△15
当期純利益				277
自己株式の取得				△102
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)	5	46	51	51
事業年度中の変動額合計	5	46	51	210
平成22年3月31日残高	11	△95	△84	4,351

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## ホームページのご案内

当社ホームページでは、企業情報・IR情報、最新ニュース等、当社に関する情報を提供しております。



IR情報

<http://www.ishimitsu.co.jp/>

## 会社の概要

会社設立 昭和26年5月  
 会社名 石光商事株式会社  
 資本金 62,320万円  
 本社 神戸市灘区岩屋南町4番40号  
 従業員数 182名

## 役員 平成22年6月29日現在

代表取締役社長 森本 茂  
 専務取締役 草場 鉄郎  
 常務取締役 山根 清文  
 取締役相談役 石光 輝男  
 取締役 上野 知成  
 取締役 白石 和子  
 常勤監査役 山岸 公夫  
 監査役 入江 和義  
 監査役 樋口 進二

## 株式の状況

- ①発行可能株式総数 22,400,000株  
 ②発行済株式総数 8,000,000株  
 ③株主数 7,117名  
 ④大株主

株主名	持株数	持株比率
石光商事従業員持株会	430千株	5.5%
石光 輝男	398	5.1
株式会社三井住友銀行	252	3.2
駒澤 孝江	216	2.8
日米珈琲株式会社	204	2.6
株式会社トーホー	200	2.5
竹田 和平	200	2.5
丸紅株式会社	192	2.4
石光 百合	165	2.1
伊藤忠商事株式会社	150	1.9

(注) 持株比率は、自己株式数(291,600株)を控除して算出しております。

## 株式分布状況

所有者別		所有数別
10名 ( 0.14% )	金融機関	888,060株 ( 11.10% )
11名 ( 0.15% )	金融商品取引業者	5,881株 ( 0.07% )
41名 ( 0.58% )	その他の法人	1,047,800株 ( 13.10% )
2名 ( 0.03% )	外国法人等	5,100株 ( 0.06% )
7,053名 ( 99.10% )	個人・その他	6,053,159株 ( 75.67% )
7,117名 ( 100.00% )	合計	8,000,000株 ( 100.00% )

## グループ情報

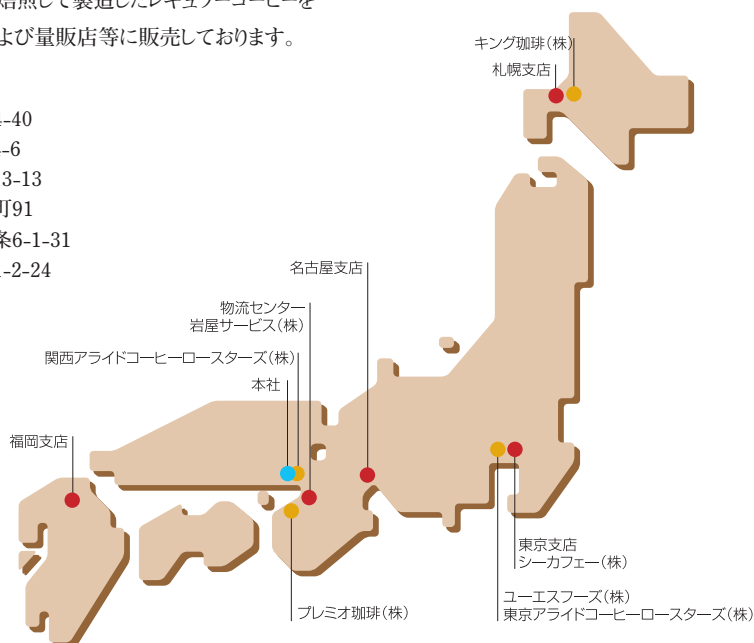
- 当 社 … 当社取扱主要品目を海外から輸入または国内で仕入れ、全国のコーヒー焙煎業者、業務用食品問屋、飲料メーカー、食品加工メーカー、量販店、外食チェーン店等に販売しております。
- シ ー カ フ ェ ー(株) … 当社取扱品目のアンテナショップとしてイタリアンレストランを経営しております。
- ユ ー エ ス フ ー ズ(株) … コーヒー生豆を自家焙煎喫茶店等の小口ユーザーに販売しております。
- プ レ ミ オ 珈 琲(株) … コーヒー生豆、常温食品および冷凍食品を自家焙煎喫茶店等の小口ユーザーに販売しております。
- 岩 屋 サ ー ビ ス(株) … 関西地区における当社の物流業務を行っております。
- キ ン グ 珈 琲(株) … コーヒー生豆を焙煎して製造したレギュラーコーヒーを常温食品および冷凍食品とともに業務用として喫茶店等に販売しております。
- 関西アライドコーヒーロースターズ(株) … コーヒー生豆を焙煎し、当社が販売するレギュラーコーヒーの製造・加工受託を行っております。
- 東京アライドコーヒーロースターズ(株) … コーヒー生豆を焙煎して製造したレギュラーコーヒーを飲料メーカーおよび量販店等に販売しております。

### 〈事業所〉

- 本 社 神戸市灘区岩屋南町4-40
- 東 京 支 店 東京都大田区山王1-4-6
- 福 岡 支 店 福岡市博多区堅粕3-13-13
- 名 古 屋 支 店 名古屋市北区五反田町91
- 札 幌 支 店 札幌市豊平区美園一条6-1-31
- 物 流 セ ン タ ー 大阪市西淀川区福町1-2-24



本 社



# S.ISHIMITSU & CO.,LTD.

## 株主メモ

---

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日 (剰余金の配当をする場合)	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町3-6-3 Tel.0120-094-777 (通話料無料)
上場証券取引所	大阪証券取引所ジャスダック市場
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL <a href="http://www.ishimitsu.co.jp/japanese/koukoku.html">http://www.ishimitsu.co.jp/japanese/koukoku.html</a> (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



この報告書は、環境に配慮し、大豆油インキを使用しております。